

～ 助けあい、支えあい、共に生きる地域をめざして～

ほうぼくかん

# あなたも「抱樸館を支える会」の 会員になりませんか？



厳しい社会状況の中、ささいなきっかけで、衣食住に不自由のない暮らしが失われてしまうことも少なくありません。経済的に困窮することで、人とのつながりや地域との関係も失い、相談する相手もなく孤立する人が増え続けています。子どもや若者の貧困が増えていることも大きな問題となっています。

みんなで助けあい、支えあう地域をつかっていくために、あなたも「抱樸館を支える会」の会員になりませんか。

## 一般社団法人「抱樸館を支える会」って？

生活困窮者自立支援施設「抱樸館」を多くの人の善意によって支えていくことを目的にした会です。

**会の目的** 以下の事業・活動を目的としています。

- ・生活困窮者支援事業
- ・抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
- ・これらに附帯又は関連する事業

## 会報のお届け

賛助会員の皆さんには定期的に(2ヵ月に1度)会報をお届けし、抱樸館の現状をお伝えしています。

## 奥田知志さんからの メッセージ



### 奥田知志さん

NPO法人 抱樸 理事長  
社会福祉法人グリーンコープ 副理事長

学生時代以来30年以上、ホームレスの方々や生活困窮者の支援を続けてきた奥田さんは、NPO法人ホームレス支援全国ネットワークの理事長でもあります。



「抱樸(ほうぼく)」とは、山から切り出された原木・荒木をそのまま抱き止めるという意味です。原木が製材所に運ばれ整えられたら受け入れるのではなく、まずは「ありのまま出会う」ということです。現代社会は、何かと理由を付けて「断って」きました。その最たるものが「自己責任」です。抱樸館は、そういう現実に対する抵抗の意志表示でした。抱樸館は「出会った責任」を果たそうと日々もがいています。私は、その「もがき」が新しい地域社会を創ると信じています。

抱樸館は「自立支援」に留まらず、「出会いから看取りまで」その人の人生に伴走します。これは「言うは易し」ですが現場は日々闘いです。でも、これは必要な闘いなのです。**路上で出会ったある方は「毎晩寝る前、二度と目が覚めませんようにと祈る」と仰いました。**野宿や孤立は、「死んでしまった方が良い」と人に思わせませう。**抱樸館にたどり着いた人々が失っているものは、家や仕事だけではありません。「生きる意味」や「希望」を失っています。**人が生きる意味を今一度見出すには、どうすれば良いのでしょうか。それは、自分のことを心配してくれる人と出会うしかありません。そして出会いが多いほど、人は生きる意味を見出します。抱樸館(下関、福岡、北九州)にたどり着き、立ち上がった方はすでに2000人近くになります。

抱樸館は、なんら福祉制度を活用していません。ですから、収益構造がぜい弱です。一方で、制度の施設ではない分「誰でも利用できる」という強みがあります。抱樸館を支える会は、このぜい弱な資金を支えるという役割があります。しかし、それ以上に**大切なのは「目が覚めませんように」と祈らざるを得ない人に「あなたを心配する人がこんなにもいます。あなたは大切ないのちです」ということを伝えるという役割です。**現在支える会の会員は9千人余りにとどまっています。私は、会員がもっと増えることを願っています。あなたの存在が人を生かすのです。抱樸館を支える会に加わっていただきたいと願います。

# 「抱樸館」は生活困窮者が自立に向かうためのステップの場です

- \*生活に困窮し、住まいを失った方たちの「ハウス(家)」となるだけでなく、「ホーム(心のよりどころ)」となり、再び地域で生活していけるように支援していきます。
- \*入居期間中は一人ひとりに相談員が寄り添い、手作りの食事や共同生活を送る仲間たちとの触れあいなど、温かい関係性の中で自立に向かえるよう支援します。
- \*退居後に地域で自立した生活を送れるよう、グリーンコープのファイバースイクルセンターなどでの就労訓練や各種自立支援プログラムによってサポートします。

## 抱樸とは

「抱樸」(ほうぼく)。聞き慣れない言葉かも知れませんが、「樸」は原木、あるいは荒木のことで、山から伐り出されたばかりの原木を、表面がざらついても、とげとげしくても、そのまま抱きとめる。私たちが行う生活困窮者支援の基本姿勢がここにあります。抱樸館では、入居してこられる方を先ずそのまま受け入れます。だからこそ、これからどう生きていくかについて真剣に向きあうことができる、そんな場所が必要なのです。

## 抱樸館福岡 (福岡市東区)



社会福祉法人グリーンコープが2010年5月に開所しました。NPO法人抱樸の協力を得て運営しています。居室数は81室。そのうち12室は、福岡市から受託した一時生活支援事業のシェルターとして、緊急に住まいが必要な方のために利用されています。

## 抱樸館福岡の食事はグリーンコープの取引先から無償提供いただいた食材で支えられています

当初は食材をすべて購入していましたが、2012年より、グリーンコープの取引先からたくさんの食材を提供いただけるようになり、食材費が半分以下になりました。抱樸館に入居して三度の食事をきちんと摂ることで、多くの方が健康を回復しています。



## 人と人の絆や地域の皆さんとのつながりを大切にしています

抱樸館の卒業生を中心とした「えにし」の会。毎月世話人によるミーティングを開催し、ボランティア活動や今後について話合っています。



## 皆さんに支えられて

2019年5月で **抱樸館福岡が10年目を迎えました!**



多くの方々の支えにより、本年5月1日をもって、抱樸館福岡は開設から10年目を迎えることになりました。この10年、人と人とのつながりあい、助けあえる社会の実現を目指して歩んできました。どうかこれからも抱樸館を支えてくださいますよう、よろしくお願いいたします。

## 入居・退居の状況

総入居者数 **1,171人** (2010年5月の開所時から2019年8月末まで)

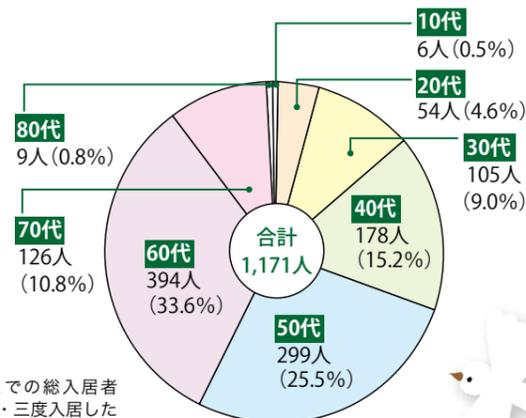
## 退居後の生活場所

(2010年5月の開所時から2019年8月末まで)

行き先	人数	割合
民間アパート	855人	71.2%
グループホームなどの施設	96人	8.0%
入院	47人	3.9%
寮(就職先の寮)	17人	1.4%
帰郷	21人	1.7%
逝去(抱樸館入居中)	6人	0.5%
自主退居・不明・その他	159人	13.2%
合計	1201人	100.0%

## 年齢構成

50代以上が全体の70%以上を占めています。



注 2019年8月末までの総入居者1,171人は、二度・三度入居した人も「1人」と数えています。退居者は、退居のたびに「1人」とカウントしています。

## 抱樸館北九州 (北九州市八幡東区)



2013年9月に開所しました。NPO法人抱樸が運営しています。30の居室があり、終の住処(ついのすみか)として、あるいは自立に向けた入居(自立支援住宅)として、入居者の状況に応じて対応しています。抱樸館北九州の施設内には、どなたでも利用できるレストランやNPO法人抱樸が別事業として運営するデイサービスセンターも併設しています。

## 入居・退居のようす

開所から7年目に入り、これまで83の方が利用され、現在は30室が稼働し満室です。(2019年8月末現在)終の住処としては、6人の最期を看取りました。自立支援住宅は、34期の方々が入居されており、この11月には卒業予定です。

## 地域に開かれたレストラン



別名「出て来い食堂」。抱樸館の関係者だけでなく、一般の方々もご利用いただけます。地域で暮らす高齢者・独居の方々にも、足を運んでいただいているレストランです。おいしいランチメニューも人気です。

## 自立に向けた就労訓練

長い間就労から遠ざかっていた人にとってまず必要なのは、生活のリズムを整えて健康を維持すること、そして仲間と一緒に働く喜びや、自分の仕事が誰かの役に立っていると感ずることも大切です。抱樸館福岡の入居者で就労が可能な方はファイバースイクルセンターの就労訓練に参加することを勧めています。ファイバースイクルセンターでは様々な種類の就労訓練を実施しています。2010年10月から2019年3月末までに171人が参加し、半数以上の方が就労につながっています。

## 主な就労訓練の内容

- ・グリーンコープファイバースイクルセンターでの衣類の仕分け・梱包作業
- ・青果リパックセンターでの青果ときびさとうの袋詰めサポート業務
- ・社会福祉法人グリーンコープが行っている珈琲焙煎事業のサポート業務



## 抱樸館熊本 (熊本市)



年2回開催する、卒業生や路上生活をしている方々との交流会のようす

## 2018年12月に抱樸館熊本がスタートしました。

2013年6月に抱樸館熊本準備室を立ち上げ、熊本県と熊本市から緊急に保護が必要な方のシェルター事業を受託し、生活困窮者支援を行なっています。

2018年12月には無料低額宿泊所を開所し、名称も「抱樸館熊本」と改めました。

2019年度、熊本県からはシェルター9室とシェルター退所者のアフターフォローを受託し、熊本市からはシェルター5室を受託しています。

## 各抱樸館の連絡先

**抱樸館熊本**  
電話 096-245-7521  
FAX 096-245-7522  
〒860-0811  
熊本市中央区本荘

**抱樸館福岡**  
電話 092-624-7771  
FAX 092-624-7772  
〒813-0034  
福岡市東区多の津5丁目5-8

**抱樸館北九州**  
電話 093-883-7708  
FAX 093-883-7705  
〒805-0027  
北九州市八幡東区東鉄町7-11

## 子どもの居場所

抱樸館を支える会の寄付金は、  
食事を摂ることも困難な子どもたちへの支援にも生かされています

### 子どもの居場所づくり

- ・地域の中に、子どもが安心して遊んだり、食事をしたり、学習をして過ごせる居場所が増えていくことは、「いま」を生きる子どもたちの将来を応援していくことにつながっています。
- ・居場所づくりを通して、支えあう地域づくりをすすめています。

これらの取り組みは、抱樸館を支える会の援助があることで、さらに安定的に継続していくことが可能になっています。

学校や地域の関係者を通して、今、日常的に朝ご飯を食べずに登校する子どもが少なからずいることや、中には学校給食だけで一日を過ごしている厳しい状況の子どもがいることを知りました。このことは、子どもたちから将来の夢や希望までも奪ってしまいかねない身近で深刻な問題です。  
グリーンコープでは「とにかく、できることから始めよう」と、子どもの居場所づくりやフードサポートによる子どもの支援に取り組んでいます。

### フードサポート

- ・教育機関(小・中学校)における食育活動・朝食支援への食品提供
- ・地域で「子どもの居場所」、「子ども食堂」、「無料の学習支援」を行う個人・団体への食品提供

## 一般社団法人

## 「抱樸館を支える会」

抱樸館を支える会の  
会費が抱樸館の運営を  
支えています



抱樸館は入居者から住居費や食事代をいただいておりますが、それだけでは施設の運営はできません。抱樸館を支える会の皆さんの会費が抱樸館の運営を支えています。

支える会は、グリーンコープ生協や社会福祉法人グリーンコープ、NPO法人抱樸が正会員で、多くの皆さんに賛助会員になっていただいております。2019年9月末の賛助会員は、グリーンコープの共同購入組合員が9,070人、店舗組合員と一般の方が164人、グリーンコープの取引先などが104社です。

2018年度は、抱樸館(福岡、北九州、熊本)と困窮する子どもへの支援に、寄付金として2,700万円提供し、広報活動などに約140万円を使いました。また、救済対策基金(300万円)を設置し、抱樸館から自立して地域で暮らす方たちが万一トラブルに巻き込まれるようなことがあった場合、その方をサポートするための弁護士費用などに充てるために、特別会計として管理しています。

### 「抱樸館を支える会」賛助会員の申し込み方法

#### グリーンコープの共同購入組合員の方

賛助会員のお申し込みには、2つの方法があります。

#### 1 毎月250円の賛助会費をお申し込みいただく方法(年間3000円)

毎月の商品代金と一緒に引き落としとなります。  
共同購入申込書の「うら」面の **1300** でお申し込みください。

**1300** 「抱樸館を支える会」 年会費3000円(月250円×12回)

#### 2 1口1000円の賛助会費をお申し込みいただく方法

何口でもお申し込みいただけます。  
お申し込みいただいた月の商品代金と一緒に引き落としとなります。  
共同購入申込書の「うら」面の **1299** でお申し込みください。

**1299** 「抱樸館を支える会」 年会費1口1000円(一括払い)

賛助会員は、一度お申し込みいただくと毎年更新されます。  
(グリーンコープの共同購入の場合)

- ①の賛助会員は毎月継続して250円請求させていただきます。
- ②の賛助会員はお申し込みいただいた月に毎年一括して請求させていただきます。

#### 一般の方、

#### グリーンコープの店舗組合員の方

1口1000円の賛助会費を何口でもお申し込みできます。郵便振替でお申し込みください。

郵便振替

01710-0-123003

(一般社団法人 抱樸館を支える会)

### ■お問い合わせ■

#### 「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号  
博多大博通ビルディング10階

Tel 092-482-1964

